



泉川っ子の未来をみんなので支えよう!

泉川公民館 館長 今西 光昭

子ども達の六人に一人が貧困というショッキングな実態が明らかになった。食事も満足に摂ることのできない子ども、スポーツや習い事をやりたくてもできない子ども、都会では国籍も持たず、学校にも通っていない子どももいるそうである。その責任を誰に問うというつもりはない。しかし、間違いなく言えることは、子ども達にはその責任は絶対にならないということだ。子どもは生まれる家も地域も選択することはできない。また、自分で儲けて貧困から脱出することもできない。それゆえに、子ども達が望み、挑戦しようとするチャンスを保障していくことは我々大人の責務ではないかと思うのである。

泉川まちづくり協議会では、

子ども支援部会を中心に、健康づくり部会や地域福祉部会と連携して、子ども達が地域の一員として尊重され、主体的に活躍できるよう「大好き泉川っ子教室」や「学校支援地域本部事業」に十年前から取組んできた。その中で、子ども達は地域の大人とよき関係を結び、既に社会人として巣立とうとしている。

先日、小学校の低学年の頃から大好き泉川っ子教室に熱心に参加していた女の子が母さんと一緒に高校卒業後、市内に就職が決まったことを報告に来てくれた。昔話に花が咲き、立派に成長したことを共に喜んだ。その際二人からもらった言葉はまさに地域活動者冥利に尽きるものだった。「公民館で小学校の頃から、みんなと一緒に活動し

できたから今の私があります。本当に感謝しています。」この言葉に本当に目頭が熱くなつたものである。きっと彼女のこれからの人生の上で、幼い頃からの公民館の体験が活かされるはずだと改めて感じた。これからも子ども達の成長を支えるために、地域の大人に何ができるか、みんなが語り合い、実践できる泉川校区でありたいものである。

昨年末の中央教育審議会の答申では、地域と学校が双方方向の関係で支えあい、一緒になつてよい良い地域を創り、そこで子ども達が生きていく力を身に付けていこうという方向性を示す「地域学校協働本部」という新しい

考え方が打ち出された。泉川校区では既に、子ども達をお客さんにしらないという姿勢で取組んでおり、今回の方向性の下でも自信を持って地域総がかりで子ども達や学校を支えていきたいと思う。貧困という社会の悪弊が子ども達の未来の可能性そして日々の安らかな生活を奪うことを奪うことのない、優しいまち泉川をみんなが創っていきたくて願っている。



幸(高)齢者パワー長るべし

泉川まちづくり協議会 会長 藤田 勉

泉川校区の老人会が最近元気である。かく云う私も八十を超える立派な老人会員であるが、みんなの元気さには目を見張るばかりである。

何が老人会を元気にさせているのか、私なり三点にまとめてみた。

第一は、「仕事がある」という

ことだ。高齢者はこれまで苦労して来たんだから労わなければならぬ。上げ膳据え膳で神棚に祭り上げておく、そこまで持ち上げはしなかったが、これまでの福祉事業はそんなものだった気がする。高齢者は弱者という発想はそもそも間違っている。これまでの豊富な職業体験で身

に付けた技能は錆びついていない。また、身体も多少は傷んだ部分はあるけれどもまだまだ大丈夫である。そんな高齢者は、むしろ必要とされる働き場所を求めている。今年度、県道郷松の端線に五百個のプランターを設置し、花いっぱい運動に老人会が取り組んでくれている。夏の暑い盛りには毎朝六時前から一時間半をかけ、各老人クラブで班編成して水やりに取り組んでくれている。本当に頭が下がる思いである。当初は、仕事もきついので年齢制限を設けたのだが、仲間に加えてくれと年齢オーバーの人から苦情が入ったと聞いている。きついことに取組むことが仲間意識を強めることを教えてもらった。

第二には「仲間がいる」ということだ。健康寿命延伸の一環でEXウォーキングに取り組んでいる。年齢限定だが、活動量計を付けて、早足で歩くことに挑戦している。一人では億劫だが、仲間がいれば一緒に続けられるようである。11号バイパスは安全な道なので、いつの間にか散歩する人が増えているようだ。健康に関心を持ち、自分の事として汗をかくことが当たり前前

風土になれば、きつと健康寿命も延びているに違いない。

第三には「集まれる場所がある」ということだ。現在老人会では、花いっぱい運動の活動助成を使って自治会館を拠点にした学習や娯楽の集い事業を展開している。公民館は遠いけれど自治会館なら身近で歩いてでも行ける。かしこまらずに普段着で行けるから良いという声も聞く。家に引きこもっていては孤立してしまうので、ぜひ自治会館に集まり、健康や年金や交通安全など役に立つ話も聞いてみようじゃありませんか。

「使わない機能は退化する」「早死を望むなら何でもやってあげること」という話を聞いたこともある。健康寿命の延伸をめざす私達は、いくつになっても誰かのために仕事を引き受け、汗を流したいものである。青汁のコーシヤルじゃないが、笑顔で「いそがしい、いそがしい」と言い合える高齢者、元気な「幸齢者」で生き抜きたい。



総務部会

部長 原田 脩三

皆さん、こんにちは。日頃は地域のコミュニケーション活動にご尽力を頂きありがとうございます。さて、今年一年を振り返りま

すと、おかげさまで、各事業分野で様々な活動の成果を挙げることができました。誰もが、私たちが生活する泉川が健康で、みんなと暮らせるまちになることを願っています。なんでもやってもらって当たり前前の時代は終わり、自分たちがやらなければ何も変わりません。地域の課題解決には行政や他人任せにせず、「自分たちでできることは自分たちで先ずやろう！」の気風がようやく生まれできました。これは自治会、まちづくり協議会、公民館、各種団体等が一体になっ

て汗を流してきた賜物だと思えます。活動成果については、各部会の報告に委ねることとしまして、地域の課題解決活動の司令塔的役割を担う「総務部会」についてお話しさせて頂きます。当部会は、自治会ブロック長、

まちづくり協

議会各一部会

長、公民館職

員で構成され

ています。先

ず取組むべき

活動目標を定

め、そして毎

月開催の総務

部会で活動実地状況について真

摯な意見交換等、すなわちP（プ

ラン）、D（実行）、C（評価）、A

（改善）のプロセスを順に実施し

ています。協議会発足以来7年

が経過し、このサイクルも順調

に回り始めました。

ご承知の通り「自分たちの地域は自分たちの力で」と多くの人が語り始め、地域が美しくなり、健康寿命にも留意するようになりました。公民館のみならず、潤滑油となつて頂いたお陰で、自治会あつての協議会、協議会あつての自治会と言われ、また各種団体との垣根も殆ど無くなりしました。これら四者のそれぞれを歯車をうまくかみ合わせるにより、新年度はさらにパワーアップを図って参りたいと存じます。



環境・美化部会

部長 太田 初

平素より皆様には、当部会の活動にご理解とご協力を頂き、誠に有難うございます。

さて、平成27年度の活動報告ですが、校区内における環境・美化を重点に活動を行いました。

まず主な事例として、毎年恒例の花いっぱい運動や大好き泉川、生ごみの堆肥化を行いました。



花いっぱい

運動では、

年2回、公民館で花の種をポットに植え、育つた苗を地域の皆さんや

中高学生の皆さんと校区内の至る所に植え替え、校区全体を花で飾ることが出来ました。

また、県道郷松の端線の開通に伴い、新たに側道花壇の管理を老人会の皆さんに行って頂き、感謝申し上げます。

大好き泉川では国道11号バイパス沿いのゴミ拾いや除草作業等を行い、幅広くご協力して頂きました。



環境面では、家庭から排出される生ごみを利用した堆肥化講習会に沢山の皆さんのご

環境面では、家庭から排出される生ごみを利用した堆肥化講習会に沢山の皆さんのご



参加を頂き、啓発活動も行うことが出来ました。

以上のような取組みを当部会では行いましたが、今後もこのような活動を継続的に行っていきと思ひます。

そして、私たちの住むまちの為に、また次世代の子どもたちの為に、自らの手でこの泉川校区の環境美化を推進し、美しい街にして行きますよ。

今後ともご理解とご協力の程、宜しくお願い申し上げます。



健康づくり部会

部長 山内 光男

「健康⇨健好⇨健幸」を合言葉に、元気で生きがいのある毎日が過ごせますようにと、皆さんの健康づくりに取り組んでいる健康づくり部会です。

当部会では、皆様のご協力のもと例年通り、運動・食事・医療の面から活動して参りました。ご協力に感謝申し上げます。27年度の活動をご報告いたします。

○5月 腰痛、ひざ痛の予防と対策として、生涯学習部会と共催で開催。



- 10月 慶應義塾 大学研究チーム、保健センター、医療生協と公民館共催の体力テスト測定でのお手伝い。
- 11月「認知症を早く見つけるためには」と題して、生涯学習部会と



- 9月 感謝祭・年輪の集いで、健康体操を参加者全員で行う。
- 10月 老人会より依頼あり、瀬戸会館へ出前。泉川健康体操を開催。



- 12月 まちづくり協議会定例会終了後、協議会各部対抗のペタンク大会を開催。(好評でした)
 - 各自自治会、老人会などで、年齢に応じたの筋力アップ、ストレッチなどを取り入れた健康体操教室を体振と共催で、年8回開催。
- 共催で開催。
- 部会では、皆さんが健康で幸せを実感できるような地域となりますよう、活動していきます。そのためには、まず健康であること。泉川健康づくり10ヶ条を再確認して「健康長寿の泉川」を作りますよう！

子ども支援部会

部会長 高津 章人

一旦リセット「泉川つ子体験教室」

私たち子ども支援部では、地域での活動は泉川つ子体験教室を中心にして、これまで子どもたちと接してまいりました。目標は、子どもたちに「この泉川に住んで良かった」と思える校区にしておくことです。

「大好き泉川」を合言葉に、体験活動、イコール居場所づくりとして、公民館を中心に週末、土曜日の一定時間に地域の人材をお借りし、文化活動や奉仕活動、スポーツ体験、野外活動、校区内の年中行事に参加、大自然にふれる活動

など行ってまいりました。そして公民館には子どもたちが溢れ、地域の皆さまに子どもたちの姿を目にする機会が少しでも増えたのではないかと思っています。何年か後に、子どもたちに悩みや相談事ができたとき、地域の大人に相談を持ちかけたり、大人からも声を掛けられるようなそんな地域をめざしたいと思います。また子どもは地域の宝ともいって、やがて大きくなり、地域のためになくてはならない人になって欲しいと願っていますし、地域の中でさまざまな人とふれあい、体験を重ねることによって、地域の一員に育ってくれていると信じています。



これまで11年間に及んだ「泉川つ子体験教室」は、平成17年度から「地域子ども教室推進事業」として、「泉川校区愛護班連絡協議会」の実施主体に始まり、今日ではまちづくり協



議会子ども支援部会が主に任を担ってまいりました。
 そして次の段階に進むために、平成28年度からこれまでの実施主体である子ども支援部会から泉川公民館へ移行をしたいと考えています。「泉川つ子体験教室」の発展的解消そして継承という位置づけで、さらに「泉川つ子体験教室」が飛躍していくべく公民館と協議を積み重ねまいります。これまで地域の皆さまには何かとお世話になりましたが、さらに発展させるために、地域の子もたち、支援部会共々、今後とも宜しくお願いいたします。

生涯学習部会

部会長 野本 敏久

学びから実践へ

本年の活動は、自治会の活性化をテーマに、限界集落に挑戦している西予市遊子川公民館を訪ねることから始めました。地域の生き残りのために何ができるか？みんなで考えた結果、トマトを中心に地区内の強い絆で「もりあげ隊」を結成し、困難な状況下でもみんなで知恵を出し合えば地域おこしができるんだという姿を学びました。

地区を挙げて取組んでいる健康寿命の延伸を目指すテーマの一つとして、「認知症の予防と早く見つけるために」の学習をしました。高齢者の七人に一人が認知症に



なっていること。脳の病気で恥ずかしいことなく早期に発見すれば快方や進行を遅らせることが医学の進歩で増えてきていることが分かりました。高齢化が進むなか地域でサポートしあえる環境づくりの大切さに気付かせられました。

心温まる「被災地支援活動を通じて伝えたい思い」と題して、東予の主婦主体のゴスペルグループの代表者から話を聞いた。困っている人や地域に、自分たちは何ができるか、仕事や家庭の多くの障害を乗り越えて、小さなことでも積み重ねることの大切さや、感謝の心のある限り続けるとの崇高な気概に心を打たれました。

これ以外に、「腰痛、ひざ痛の予防と対策」「高齢者の交通安全対策」「えひめA12の作り方と



使用法」「南高ユネスコ部による新居浜の歴史と観光の再発見」「地域の宝である子どもたちの育成について泉川校長先生のお話」を実施いたしました。

このように、生涯学習部会は、明るく健康的で楽しい家庭や地域を創るための諸課題等のテーマについて学び、少しでも実践に結びつけていけるよう手助けをしています。今後とも地域の課題やご意見、ご要望をお寄せいただくとともに、参加して、みんなで地域に広めたいものです。

安全安心部会

部長 小山 博規

多くの自治会の人々と協力して
行った活動報告をいたします。

一、防災活動

① 泉川校区防災訓練

新居浜市防災安全課より、本年度は校区連合自治会を主体とした大規模災害発生時に役立つ地域密着型の防災訓練をするよう通達があり、泉川校区全体での防災訓練する計画を立案、実施しました。



12月6日(日) 午前9時〜12時、
寿公園にて総勢一四〇名余りの参加者で実施されました。

南消防署、泉川消防団、婦人消防団、水道局の指導で救急救命(AED) 三角巾、応急タンカ、消火器の取扱法、給水訓練、土の作成方法等、又、ボランティアによる炊き出し訓練も実施されました。

「前にも一度訓練を受けたけど、忘れていたヨ」との声も聞かれました。減災に結びつく訓練の継続することの大切さを痛感しました。テントの設営、炊き出し等に協力いただいた方々、大変ありがとうございました。

とうございました。

これからは、ハード訓練だけでなく、安全な避難経路及び、避難所の運営、災害情報のあり方等校区全体の消防組織、防災士の組織等ソフト訓練にも傾注したいと思えます。是非協力をお願いします。

ブロック別防災訓練では、6月28日(日) 松木坂井ブロックで百名近くの人が参加され実施されました。ブロック単位ならでの盛り上がった訓練でした。

② 土の製作用砂置場の設置

8月1日〜末 泉川公民館入口東側駐車場に2m角高さ0.6mのコンクリート

ブロック囲いによる土の製作用砂置場を設置しました。暑い夏季の作業で、ボランティア4〜5人で、悪戦の未完成し、各自治会の有志で土のうを作成在庫しました。予告なしのゲリラ豪雨等、対応出来ればいいなアと思っています。利用してください。又、製作に協力いただいたボランティアの方々に感謝します。

③ 防災先進地研修

11月14日(土) 広島県阿賀市防災センターへ22名の参加で防災先進地研修を実施しました。

震度7の体感訓練は、衝撃的なものでした。実際巨大地震に遭遇した時、冷静な対応ができる心配です。

④ 『防災マップ』の作成

昨年度、松木坂井、川東、上泉、





下泉4ブロックの「防災マップ」を作成、既当する地域全戸に配布しました。本年度、喜光地松原、西喜光地、瀬戸寿、岸の上の4ブロックについて、ブロック長等による協力で、3月までに各家庭に配布できるよう進めています。

「防災」に関する諸活動を実施して来ました。関連部署及び、ボランティアの方々への感謝を申し上げます。泉川校区の方々の防災に対する関心の尚一層の高まりを希望します。

二、第6回泉川小学校生徒による「まちあるき」

10月14日(水)午後1時から恒例の小学生全員による「まちあるき」を実施しました。

昨年、小学生、中学生、老人会の協力により「お散歩マップ」を作りました。このマップを基本に8つのブロックで、それぞれお散歩コースを散策して「泉川再発見」をテーマに秋空の下、保護者、自治会、見守り隊の引率により、実施されました。秋祭りを控えた忙しい時季でしたが、総勢

六百人余りが参加しました。毎年行っている行事ですが、子ども達が元気で楽しそうに歩く姿は、地域の人々に、元気を与えた感でした。

散歩から帰って、各地区毎で「まちあるき5.7.5」と題して、俳句、標語を作りました。俳人夏井いつき先生もびっくりするよくな俳句も出来たような気がします。

三、交通安全教室 学習会

交通安全協会、老人クラブ、

生涯学習部会、安全安心部会協賛で、交通安全教室の学習会を8月10日(月)午前10時30分より、新居浜警察署の亀岡正純交通上席係長の講習を受けました。

今年に入って、南バイパスで高齢者の歩行者が、同じく高齢者の運転する車にはねられ死亡するといったましい事故がありました。残念な出来事です。お互いに注意し合い、事故に遭わないように、事故を起こさない事が大切ではないでしょうか。

部会員の募集

泉川まちづくり協議会では安全安心部会・環境美化部会・生涯学習部会・健康づくり部会・地域福祉部会・子ども支援部会の各部会員を募集しております。

泉川地域にお住いの方でこの地域をより安全に、より快適に、より安心に、より健康的にしたいと思う方ぜひご協力をお願いいたします。

一人でも多くの方のご参加をお待ちしております。

申込先

泉川公民館 Tel 41-6463

泉川まちづくり協議会よりお礼とお願い

泉川まちづくり協議会は、準備期間の実行委員会を得て、平成22年4月に設立され、地域の皆様方のおかげでまちづくりの活動を行うことができました。

これも偏にこれまでご支援いただきました事業者、商店、個人の皆様方の「思い」のおかげです。ありがとうございます。

今後より一層、泉川を温もりのある触れ合いあふれる



泉川まちづくり協議会キャラクターいずどん

まちにしていきたいとまちづくり協議会一同願っております。平成18年度から始めたこの寄付金制度です。まちづくりに共感していただける地域の皆様、是非、ご寄付にご協力下さい。一世帯三百円で自治会単位での受け付けも行っております。

公民館でも随時受け付けております。

地域福祉部会

部長 森田 敏裕

平成27年度は「泉川感謝祭」「功労者表彰」「年輪の集い」を合同開催で、平成27年9月19日(土) 午前10時スタートで公民館内の体育館で実施しました。

開会の前に、泉中生の合唱によるオープニングセレモニーでスタートです。石川司会進行により、森田社協泉川支部長の主催者挨拶のあと、石川勝行市長の来賓挨拶、来賓紹介、今年金婚式を迎える18組のご夫婦に石川市長より金婚式の表彰状、原田連合自治会長より記念品、紅白饅頭、泉中生による記念メダルが授与



されました。受賞者のみなさん誠にありがとうございました。

功労者表彰3

名の方に藤田まちづくり会長、今西館長より日頃の活動に対しての表彰状、記念品、泉中生による記念メダルが授与されました。ご苦労に対しまして感謝申し上げます。これからも地域の模範として頑張ってください。

続きまして、年輪の集いの方29名です。「人生の節目」である喜寿を迎えられた方々をお祝いする式典です。該当される方々に藤田ま



ちづくり会長より記念品、泉中生より記念メダルがありました。おめでとうございます。又、本日の式典を代表して金婚式の近藤敏生さんよりお礼の言葉がありました。泉川健康体操を一緒にした後、

平成27年度 泉川まちづくり協議会・学校支援地域本部事業等交流事業

- ◆ 事例発表
 - 愛媛の保護者と教師の集い 松山市 (8/7) ~教育力の向上~ 発表 濱田校長、今西館長
 - 全国社会教育研究大会大分大会 講演 (10/8、9) シンポジウム「互いに助け合い支え合う地域力を高める社会教育の再生」湯布院 野上公民館 講演 意見交換
 - 地域力醸成コンファレンスin島根 健康寿命を伸ばし介護保険料を減らそう 発表

- ◆ 視察及び研修
 - 香川県三豊市 公民館研修 (6/3) 「泉川まちづくり協議会」と「健康寿命延伸の取組み」
 - 文部科学省生涯学習政策局社会教育課長 谷合俊一氏来館 (7/17)
 - 伊予市双海公民館 研修 (8/8) ~地域主導型公民館運営について~
 - 文部科学省生涯学習課課長輔佐 佐藤秀雄氏来館 泉川まちづくり協議会の組織と運営 公民館を拠点にした高齢化社会克服プロジェクト
 - 文部科学省生涯学習政策局長 河村潤子氏、他2名 来館 課題解決と価値創造について・公民館GP説明 学校支援地域本部事業~地域、学校協働本部、コミュニティスクールについてなど
 - 文部科学省 初等中等教育局参事官 (学校運営支援担当) 廣田 貢氏来館 泉川小学校、中学校訪問~コミュニティスクールについて~
 - 公民館GP 先進地研修 徳島阿南市保健センター、伊座利地区へ

舞台上で記念撮影を行いました。いよいよ恒例のアトラクションです。会食の準備もでき「乾杯の音頭」を村上ケアネットワークの会長にお願いしました。アトラクションは、医療生協による在宅介護支援啓発劇「あの世その世この世」・鳥嶋民謡会の民謡・三味の会(やまゆり)が三味線を披露されました。

会食をしながら、アトラクションと連合自治会女性部による温かい汁物に、参加された皆さんは楽しい一時を過ごされたと思います。終わりに閉会の挨拶を原田連合自治会長より頂き、終わりました。主催より一言、当日の式典開催に伴う準備、後片付け等につきまして、関係各位にご協力いただきました。感謝を申し上げます。